

## 第33回 第2章 現代の経済

### 第5節 国民経済と国際経済

# 貿易と国際収支

講師

篠田健一郎

#### 学習のねらい

現在の国際経済の基本的なしくみは国際分業と自由貿易です。まずここをおさえます。続いて貿易に欠かせない為替のしくみを確認します。最後に一国の1年間のお金の出し入れをまとめた国際収支を確認します。

調べておこう  
覚えておこう

比較優位／保護貿易／経常収支／資本移転等収支／  
リカード／外国為替市場／金融収支／円安／円高

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 自由貿易と国際分業

現在の国際経済の基本的なしくみは自由貿易と国際分業です。自由貿易とは関税をかけたり輸入制限をしたりという国家の干渉なしに貿易が自由に行えるということです。国際分業とは各国が自分の得意とする財やサービスの生産に特化することです。国際分業によって各国が安くよい財やサービスを生産し、生産物を自由貿易によって自由に交換することにより、世界の人々が豊かな暮らしができると思います。

このしくみを体系立てて説明した経済学者が、18世紀から19世紀イギリスの<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ という人です。①はイギリスには毛織物に<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ があり、ポルトガルにはワインに<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ があることを説明しました。そして、イギリスとポルトガルそれぞれに比較優位のある生産物の生産に特化し、できあがった生産物を自由に交換する、つまり国際分業と自由貿易が両国にとって利益となることを解き明かしました。これを比較優位の理論とか比較生産費説といいます。

その後イギリスは産業革命を達成し工業製品を大量に、しかも安価で生産できるようになります。自由貿易はイギリスからの輸出に有利です。しかし、産業革命を経て工業化を進めようとしている国々にとっては、自由貿易では国内産業を守り育てることができません。そこで関税をかけたり輸入量を制限するなどの<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ を行いました。自由貿易か<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ かという論争はいつの時代にも見られることです。貿易をめぐる妥協点は、自由貿易を原則とし、各国の事情に合わせて関税をかけたり輸入制限措置をとることを例外として認める、というのが現実的です。

POINT 2

為替

為替かわせとは、離れたところ同士での売買代金の支払いや資金の移動を、現金を輸送することなく行う手段です。貿易などのときに用いられる決済の方法で、小切手や証書などを使います。貿易のように外国とのやり取りの場合は外国為替といいます。

日本で作った自動車をアメリカに輸出すると、アメリカから自動車の代金が日本に入ってきます。しかし、アメリカの通貨はドルですし、日本の通貨は円ですから、ドルと円を交換する必要があります。第二次世界大戦直後から 1970 年代までは、各国の通貨はアメリカ・ドルとの交換比率が決まっていました。現在、各国の為替相場はその国の通貨の需要と供給によって決まる変動為替相場制をとっています。円を必要とする取り引きが増えれば ④ になります。ドルを必要とする取り引きが増えればドル高になります。しかし、この為替相場があまりに不安定になると貿易をするうえでは困ります。その時は中央銀行が ⑤ に介入して安定を取り戻すよう働きかけをします。円高が行き過ぎているようであれば円売り介入をしますし、⑥ が行き過ぎているようであれば円買い介入をします。

POINT 3

国際収支のしくみ

皆皆さんの家庭で家計簿をつけるように、国や地域もお金の出し入れを表す統計があります。それが国際収支です。国際収支は IMF（国際通貨基金）が決めた国際標準ルールに基づいて 1 年ごとに作成されます。

国際収支は、ものとサービスの対外取り引きを表す ⑦、お金の対外取り引きを表す ⑧、社会資本整備などの海外援助に関する ⑨ に大別されます。日本の国際収支を見ると、金融収支の中の直接投資や証券投資の黒字額が大きく、経常収支の中の第一次所得収支の黒字額が大きいことから、投資により儲けていることがわかります。すなわち、日本が金融立国であることがわかります。つまり国際収支を見るとその国の様子がわかるのです。

① サービス	② 比較優位	③ 保護貿易	④ 円高	⑤ 外国為替市場	⑥ 円安	⑦ 経常収支	⑧ 金融収支	⑨ 資本移動等収支
--------	--------	--------	------	----------	------	--------	--------	-----------